

## 編集後記

特徴のある皮膚症状を呈する尋常性乾癬の患者を初めてみたのは学生時代のポリクリの折であった。当時の教授からは、この病気をみることできた君たちは運がよい、といわれたことが思い出される。その当時は乾癬患者が少なかったように思う。その後、皮膚科医として仕事をするようになってからは、乾癬患者が次第に多くみられるようになり、決してまれな疾患とはいえなくなった。

乾癬の診断は容易であっても、その治療には難渋していたが、ステロイド外用薬、ビタミンD<sub>3</sub>軟膏、免疫抑制剤、光線療法、そして、最近の生物学的製剤に至るさまざまな治療手段が加わり、治療効果が著しく向上してきた。それは乾癬の発症機序の解明など、基礎的研究の積み重ねによるものである。また、乾癬は皮膚病変のみにとどまらず、さまざまな臓器病変との関連性が指摘されており、乾癬という疾患の面白さ、奥深さがある。今月号に掲載されている症例を参考にして、乾癬の診断、治療など臨床に役立たせていただきたいものである。

今月号で本年度は終了し、次号から本誌は40周年に入る。さらに臨床に役立ち、読み応えのある雑誌にしたいものと考えている。

皆様におかれましては、良き年をお迎えいただき、引き続き本誌へのご支援、ご叱咤をお願いいたします。  
(R.S.)

## 次号予告

Vol.40, No.1

## 特集 記憶に残る皮膚病

## ◆editorial

斉藤 隆三

## ◆臨床例

自然経過を見ざるを得なかった無色素性悪性黒色腫

安齋 眞一ほか

関節リウマチ患者の難治性下腿潰瘍 伊崎 誠一ほか

重症SLEに生じた汎発性深在性エリテマトーデス 衛藤 光

小児掌跖丘疹性紅斑性皮膚炎(いわゆる砂かぶれ様皮膚炎)

——寒冷刺激が発症誘因に関与か—— 荻野 篤彦

秋田県玉川温泉湯治後に生じた多発性紅色丘疹 笠井 弘子, 木花 光

リツキシマブによって救命しえた重症の全身性強皮症

合併間質性肺炎 吉崎 歩, 佐藤 伸一

血漿交換療法直後の大量免疫グロブリン静注療法が著効した

治療抵抗性重症尋常性天疱瘡 橋本 隆, 石井 文人

B型肝炎ウイルスワクチン接種後に生じたGianotti-Crosti症候群

戸倉 新樹

抗うつ薬による賦活症候群を契機として双極性障害を

発症したアトピー性皮膚炎 幸野 健

white fibrous papulosis of the neck 高島 翔太ほか

植皮部に再発を繰り返す爪部melanoma in situ : syringotropism

を伴う植皮内転移 佐野 栄紀, 中島 英貴

重症感染症を転機に軽快した尋常性天疱瘡 山上 淳ほか

乾癬の最重症型 山本 俊幸

ジアフエニルスルホンが著効を呈した持久性隆起性紅斑

清島真理子ほか

ストーマ周囲に生じた腸上皮化生による大型の難治性潰瘍

赤坂 俊英ほか

疣状黄色腫様現象を伴った基底細胞癌 赤坂 俊英ほか

超音波メスで手術治療した分節型尋常性白斑 塚本 克彦ほか

末梢神経系腫瘍: peripheral neuroectodermal tumor of the

skinを疑った症例 日野 治子, 岡 輝明

歯周病治療にて改善した掌跖膿疱症 片山 一朗

ロドデノール(RD)誘発性脱色素斑 鈴木 民夫ほか

市販外用薬によるアレルギー接触皮膚炎の合併により

難治化した陰茎、亀頭部の潰瘍病変 横関 博雄, 秋野 愛

Melanoma in situ 症例との出会い 斎田 俊明

## ◆新春放談

皮膚病診療の編集方針

斉藤 隆三, 向井 秀樹, 浅井 俊弥, 山本 俊幸

## ◆随想

忘れえぬ症例

石川 治

## ◆蝶の博物詩

西山 茂夫

## ◆診察室の四季

斉藤 隆三

## ◆皮膚科のトリビア

浅井 俊弥

## 皮膚病診療 Vol. 39, No.12(2017)

平成29年11月25日印刷

平成29年12月1日発行

1部定価2,400円(本体)+税 送料82円

年ぎめ予約購読料35,800円(本体)+税

発売所/丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 西岡 清

発行人 山田 淳史

発行所 株式会社協和企画

〒105-8320 東京都港区虎ノ門1-10-5 3階

電話:03-6838-9200(代) 03-6838-9225(編集)

振替口座:00190-0-36746

印刷所 株式会社 恒陽社印刷所

ご購入ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2017年

・JCOPY &lt;(社)出版者著作権管理機構 委託出版物&gt;

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。